

神栖市地域公共交通計画 概要版

1. 計画策定の目的

地域交通に関するマスタープランとなる計画（地域公共交通計画）を策定し、地域にとって望ましい公共交通サービスの姿を明らかにすることを目的としています。

2. 計画区域と計画期間

計画区域は、神栖市全域とします。（必要に応じて近隣自治体との連携を行います）
計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

3. 計画の基本方針

持続可能なまちづくりを支える、総合的な交通ネットワークの整備

4. 計画の基本目標と施策体系

基本目標 1

地域特性に対応し、誰もが便利に移動できる持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

- 市街地においては公共交通サービス維持・発展、郊外地においては地域の実情に応じた効率的な運行形態や運行方法等の検討を行い、持続可能な地域公共交通網の構築を図ります。

施策1 地域特性に対応した公共交通ネットワーク

基本目標 2

コンパクトなまちづくりと連携した公共交通施策の推進

- 都市拠点やにぎわい地域拠点の神栖、平泉、知手中央、波崎、生活地域拠点の若松、土合の拠点づくりと連携を図りながら、これらの拠点を機能的に結ぶ公共交通網を構築します。

施策2 まちづくりとの連携に関する内容

基本目標 3

市民ニーズや移動動向等を踏まえ関連施策とも連携した地域公共交通ネットワークの整備

- 関連施策との連携や運賃施策等を実施し、誰もが気軽に利用できる公共交通を構築します。
- 快適な利用環境づくりや公共交通情報の提供・発信を行います。

施策3 関連施策との連携に関する内容

施策4 利用環境の改善 施策5 新たな公共交通の取組

基本目標 4

多様な主体による地域公共交通を支える仕組みづくり

- 地域全体で公共交通を支えるために、モビリティマネジメントの手法を取り入れ、地域等と協働による積極的な利用促進や情報発信を図ります。

施策6 公共交通への市民参画推進

5. 目標達成に向けた施策と具体的な取組

基本目標1 地域特性に対応し、誰もが便利に移動できる持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

施策1 地域特性に対応した公共交通ネットワーク

(1) 広域移動手段の確保・維持

①高速バス

- 利便性向上に向けた運行事業者との協議
- 高速バス利用方法の周知

(2) 拠点間ネットワークの確保・維持

①路線バス

- 路線バスの維持
- 利用動向の把握
- 路線等の再検討

②コミュニティバス

- コミュニティバスの維持・改善
- 利用動向の把握
- 利用者ニーズを踏まえた今後の運行の検討

(3) 地域内ネットワークの確保・維持

①デマンドタクシー

- 運行エリアの見直し
- 乗降場所及び乗降場所登録基準の見直し
- 他の公共交通機関との連携
- 運行実績を踏まえた運行台数や車両の見直し

②タクシー

- 国の動向を踏まえた閑散時間帯における運賃引き下げの検討
- タクシーと他の公共交通機関との乗継利便性向上の検討
- タクシー利用方法の住民への周知

基本目標2 コンパクトなまちづくりと連携した公共交通施策の推進

施策2 まちづくりとの連携に関する内容

(1) 拠点づくりの取組と公共交通の連携

- ・ 鹿島セントラルホテル周辺や市役所等の広域的な交流機能を持つ「都市拠点」、地域生活に必要な商業・サービス系の施設と住宅が集積する「にぎわい地域拠点」、住宅と生活を支える施設によって形成される「生活地域拠点」を機能的に結ぶ公共交通網を構築し、拠点づくりの取組など拠点の活性化に寄与します。

- 居住地（地域）から拠点への接続強化
- 拠点間ネットワークの強化

5. 目標達成に向けた施策と具体的な取組

基本目標 3

市民ニーズや移動動向等を踏まえ、関連施策とも連携した地域公共交通ネットワークの整備

施策3 関連施策との連携に関する内容

(1) 高齢者にやさしい公共交通サービスの提供

- 路線バス福祉パス・福祉タクシー等福祉施策として行う移動サービスの継続運営。
- 福祉施策と公共交通の連携強化及び対象者の見直しの検討

施策4 利用環境の改善

(1) 公共交通を快適に利用できる環境づくり

- 乗継利便性の向上のための乗継場所の整備の検討
- サイクルアンドバスライドの実施等についての検討
- 乗継割引券など利用しやすい料金制度の検討

(2) 安心、安全で、親しみやすい環境づくり

- ラッピング広告の実施検討
- 交通事業者と連携した安全教育研修の実施検討

(3) ICTを活用した情報提供の充実

- 「かみす交通ナビ」やバスロケーションシステムの発展・周知PR
- 市民への公共交通の情報提供

施策5 新たな公共交通の取組

(1) 自動運転バス、Ma a Sなどの新技術に関する調査・検討

- 自動運転バス、Ma a Sなどの最新技術の情報収集及び神栖市への展開の検討

基本目標 4

多様な主体による地域公共交通を支える仕組みづくり

施策6 公共交通への市民参画推進

(1) 公共交通利用に向けた意識啓発

- 利用促進キャンペーンの実施
- 高齢者団体・障がい者団体等との連携
- バス乗り方教室・出前講座の開催
- イメージアップ戦略
- バスお試し乗車券の配布

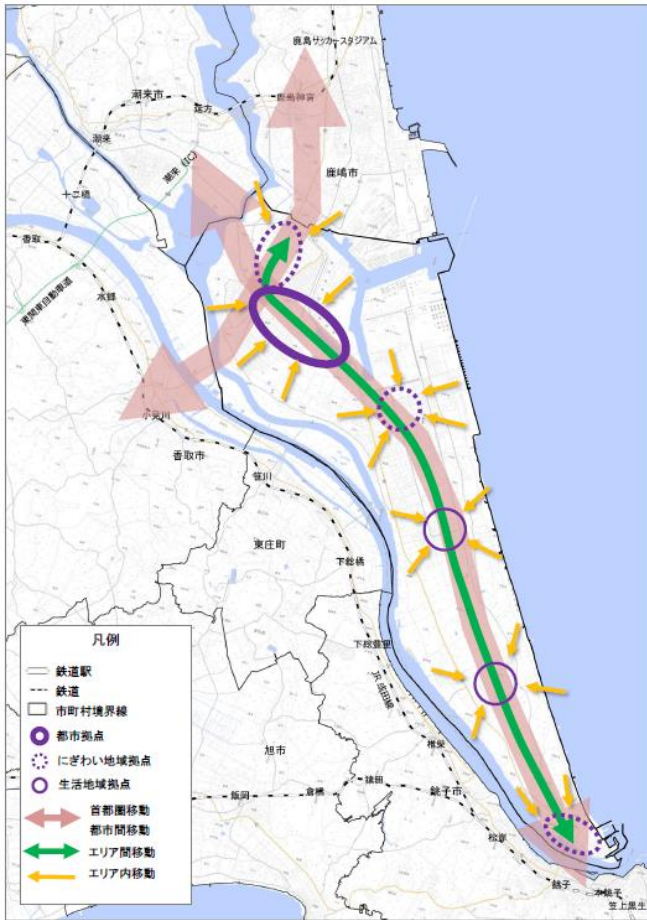
(2) 高齢者が安心して移動できる環境づくり

- 地域との連携による高齢者移動サービスの検討
- 商業施設、医療機関等の送迎無料バスとの連携の検討

(3) 地域等との協働による利用促進

- 定期的な住民ニーズの把握
- 公共交通運行に関する情報の提供

6. 神栖市全体の公共交通ネットワークのイメージ



地域区分	公共交通の基本的な考え方
首都圏移動	市内と首都圏を結ぶ交通ネットワークを形成する。大量輸送が可能な高速バスが主体となる。
都市間移動	市内と市外を結ぶ交通ネットワークを形成する。大量輸送が可能な路線バスやコミュニティバスが主体となる。
エリア間移動	市内の主要拠点や主要施設を結ぶ交通ネットワークを形成する。路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーなどが主体となる。
エリア内移動	居住地から主要拠点への交通ネットワークを形成する。デマンドタクシー、タクシーなどが主体となる。

7. 計画目標の評価スケジュール

基本目標	評価指標	R3	R4	R5	R6	R7
【基本目標1】 地域特性に対応し、誰もが便利に移動できる持続可能な地域公共交通ネットワークの構築	①公共交通の利用者数	→	→	→	→	→
	②公共交通の事業の収支率	→	→	→	→	→
	③公共交通の公的資金投入額	→	→	→	→	→
【基本目標2】 コンパクトなまちづくりと連携した地域公共交通サービスの導入	④拠点づくりと連携した地域公共交通サービスの導入	→	→	→	→	→
	⑤ホームページや広報紙などの情報発信回数	→	→	→	→	→
【基本目標3】 市民ニーズや移動動向等を踏まえ、関連施策とも連携した地域公共交通ネットワークの整備	⑥高齢者運転免許証自主返納支援事業交付件数	→	→	→	→	→
	⑦バス待ち環境整備	→	→	→	→	→
	⑧バスの乗り方教室の実施回数	→	→	→	→	→
【基本目標4】 多様な主体による地域公共交通を支える仕組みづくり	⑨利用促進イベント、出前講座、企画乗車券などのPR・イベント実施回数	→	→	→	→	→

→ : 実施状況の確認及び検証 → : 次期計画に向けた検討
→ : 目標値の達成状況の検証

評価指標	目標値	
①公共交通の利用者数	路線バス 1,000人/日 コミュニティバス 144人/日 デマンドタクシー 125人/日	
	②公共交通の事業の収支率	コミュニティバス 13.0% デマンドタクシー 15.0%
	③公共交通の公的資金投入額	デマンドタクシー 45,000千円
④拠点づくりと連携した地域公共交通サービスの導入	2	
⑤ホームページや広報紙などの情報発信回数	10回/年	
⑥高齢者運転免許証自主返納支援事業交付件数	420件/年	
⑦バス待ち環境整備	10	
⑧バスの乗り方教室の実施回数	6回/年	
⑨利用促進イベント、出前講座、企画乗車券などのPR・イベント実施回数	3回/年	